

幼稚園だより

令和7年11月10日

11月号

荒川区立花の木幼稚園

園長 竹下 佳余

預かり教育「にじ組」

主任教諭 國枝 志帆

園庭のカキの実がだんだんと色づき、晩秋の気配が感じられるようになりました。

先日行われた運動会へのご参加ありがとうございました。子どもたちは、一人一人が自分なりの力を発揮し、日頃の取組の成果を見せてきました。保護者の皆様、地域の皆様の温かい声援をありがとうございました。

さて、今年度から預かり教育「にじ組」が始まり、半年が経ちました。子どもたち、保護者、職員が預かり教育の生活の流れに少しずつ慣れ始め、預かり教育を利用する方も増えてきました。日々、預かり教育へのご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

にじ組では、3学年が一緒に過ごすので自然と異年齢交流となっています。同じ学年の友達にはなかなか自分の思いを伝えられずにいた年少組の女の子は、にじ組で年中・長組の遊びのやりとりを見て、自分の気持ちを少しずつ友達に伝えられるようになりました。年中組のごっこ遊びが盛り上がったり、年少組の制作をみんなで真似て作ったりと、一人一人の得意なこと・好きなことをみんなで楽しむクラスとなり、まさにそれぞれの色が合わさった「虹」のようになってきています。これからも子どもたちの様子を見守りながら、楽しく安心できる預かり教育にしてまいりたいと思います。

11月は秋の遠足を予定しています。秋の自然をたっぷり感じられる遠足にしたいと思います。子どもたちのお土産話を楽しみに待っていてくださいね。

今月の保育のねらい



《3歳児：ひよこ組》

- ・教師や友達と一緒に伸び伸びと体を動かして遊ぶ心地良さを味わう。
- ・身近な秋の自然に触れたり、変化を感じたりする。

《4歳児：こあら組》

- ・友達と一緒に様々な運動遊びに取り組み、体を十分に動かす心地良さを感じる。
- ・秋の自然に触れ、遊びの中に取り入れて楽しむ。

《5歳児：いるか組》

- ・友達と共に目的に向かって、気持ちを合わせて取り組み、満足感や達成感を味わう。
- ・季節感を味わいながら、秋の自然とじっくり関わる体験を楽しむ。